

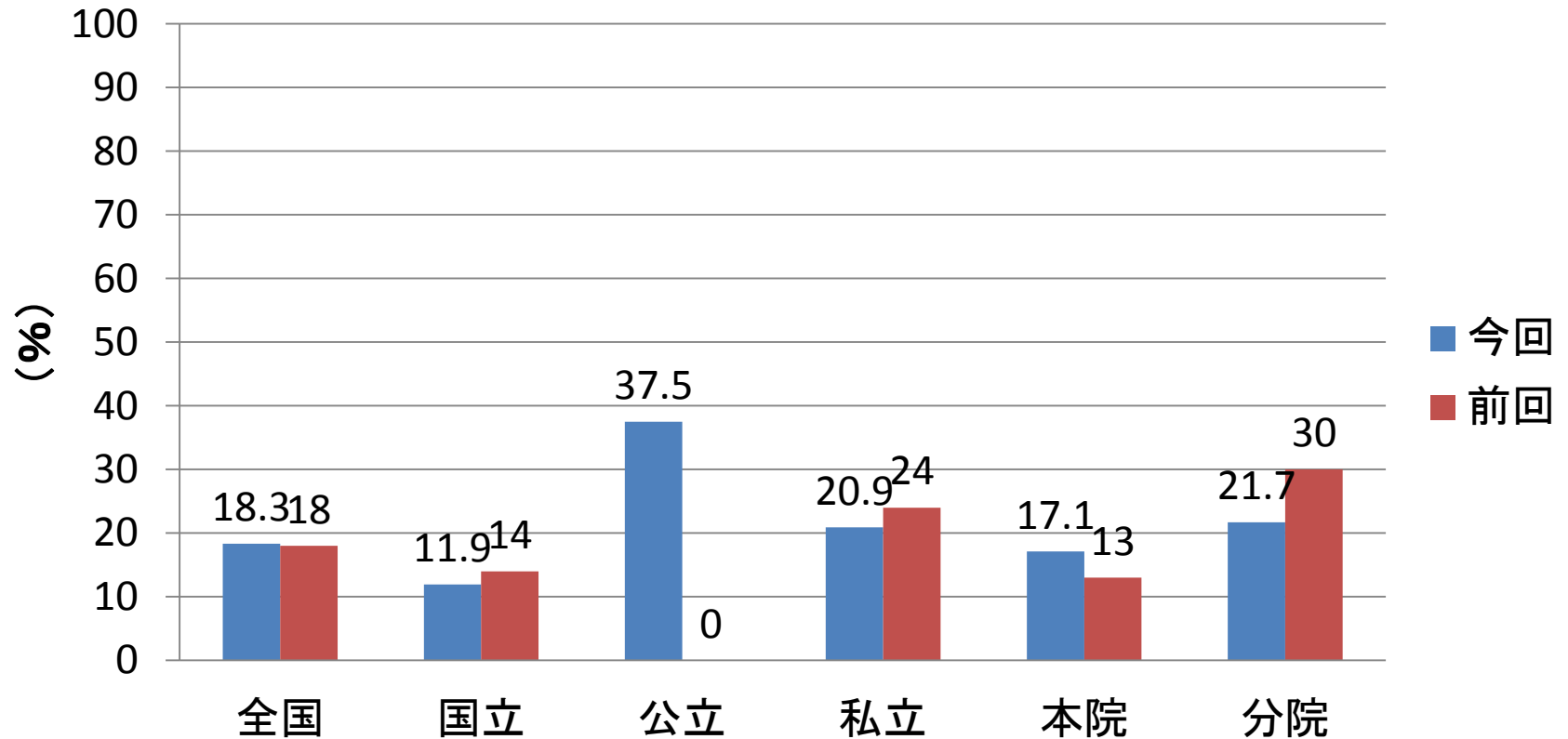
# 平成25年度(2013年) 大学病院経営実態調査

一般社団法人  
全国医学部長病院長会議  
大学病院の医療に関する委員会  
経営実態・労働環境ワーキンググループ

# 調査の概要

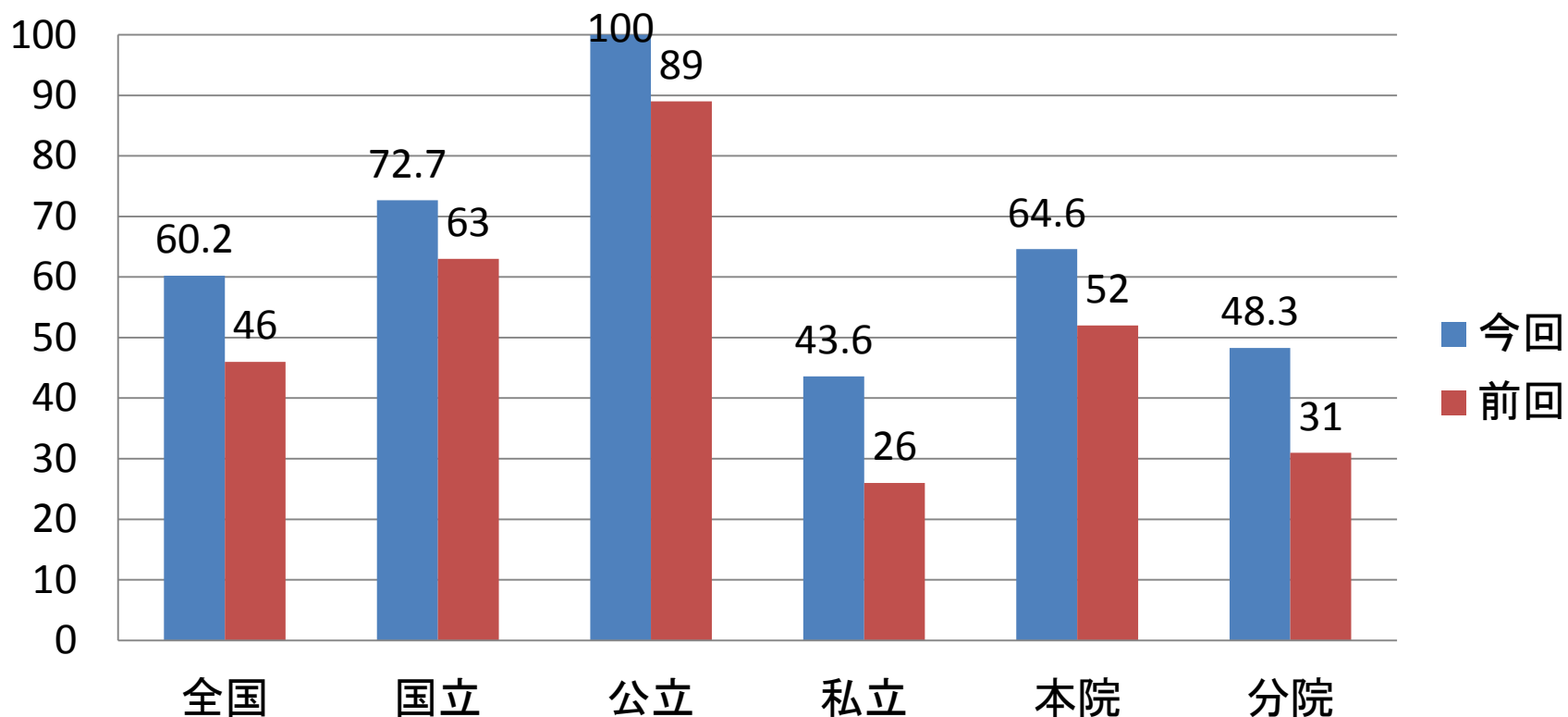
- 調査対象: 全国の大学病院、大学病院分院
- 調査時期: 2013年4月 (同様調査を前回は2010年10月に実施)
- 調査目的: 大学病院の経営上の課題に関する情報共有とそれに基づく対策の検討
- 調査項目:
  - 大学病院長の意識 (p3)
  - 大学病院が抱える短期的、中期的、長期的問題点 (p9)
  - 各病院の診療報酬の月次推移 (p10)
  - 診療報酬改定の影響 (p14)
    - 収入の変化の主要な要因
    - 経営方針の変化
    - 経営状態を圧迫している主要因子
    - 勤務医及び職員の勤務条件及び処遇の改善に関する具体的施策と開始時期
  - 大学病院の地域・社会貢献 (p32)
  - 大学病院の機能評価指標として有用と考えられる臨床指標 (p34)
  - 労働基準監督署の指導の現状 (p36)
  - 医師の人件費負担のあり方 (p37)
  - 大学病院勤務の勤務環境実態 (p38)

# 宿直明けの勤務緩和



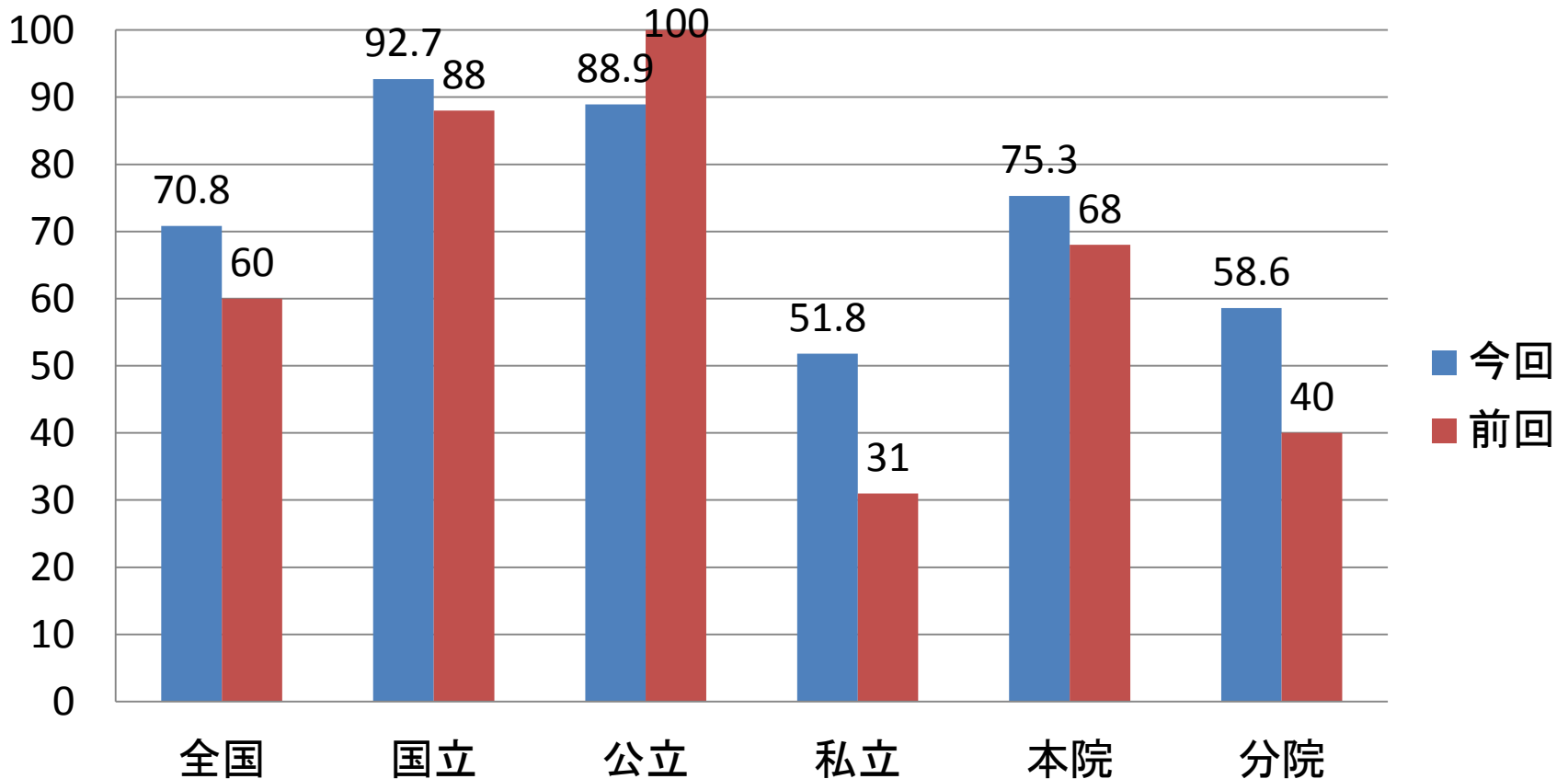
全国平均は前回調査からほぼ横ばいと考えられる。公立大学病院では前回調査では宿直明けの勤務緩和の報告がなかったが、今回は37.5%が行っていると回答した。宿直明けの勤務緩和については依然として、低い水準になっている。

# 宿直中の時間外勤務手当



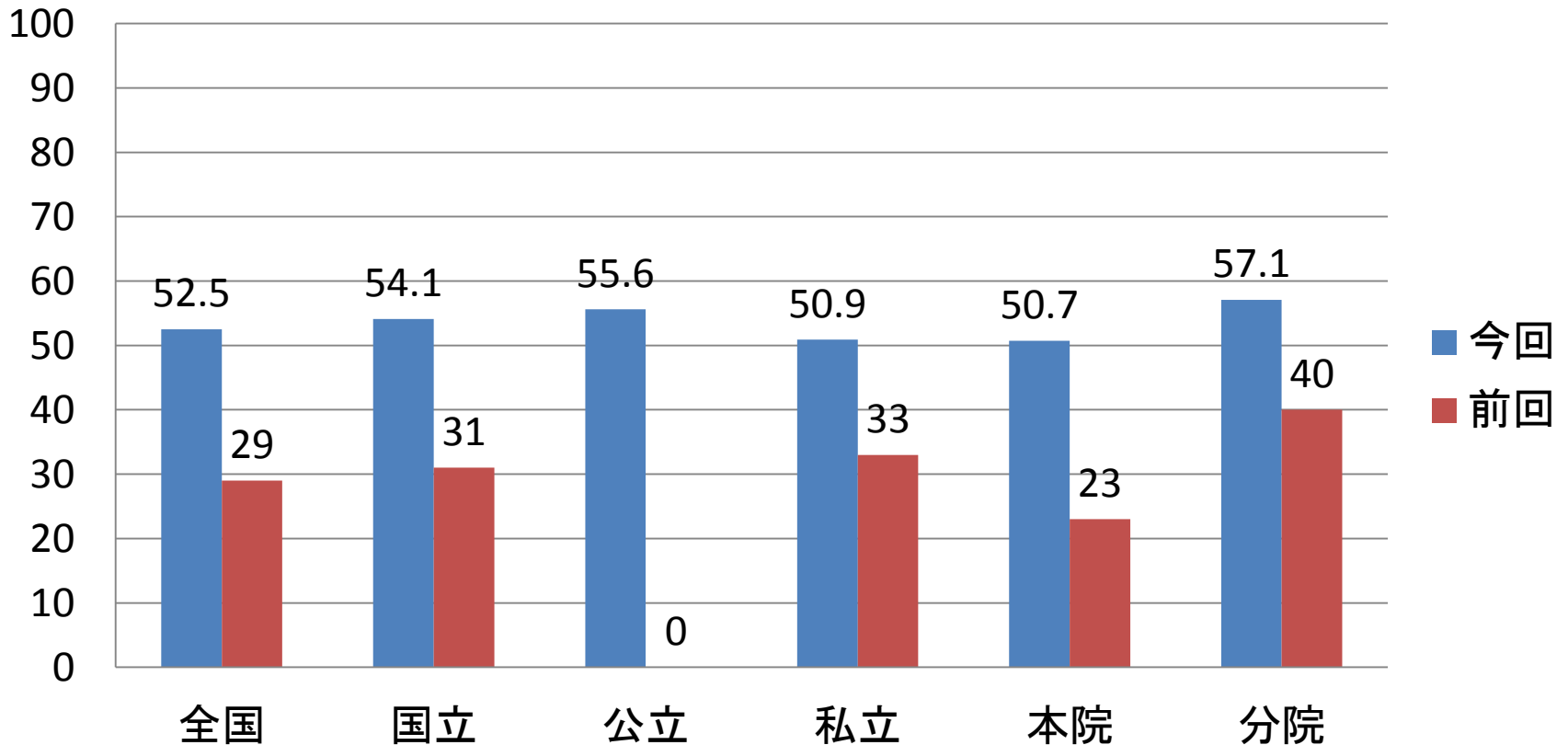
設立母体、本院分院に関わらず、宿直中の時間外勤務手当を支給している施設の割合が増加している。

# 宿直医以外の時間外勤務手当



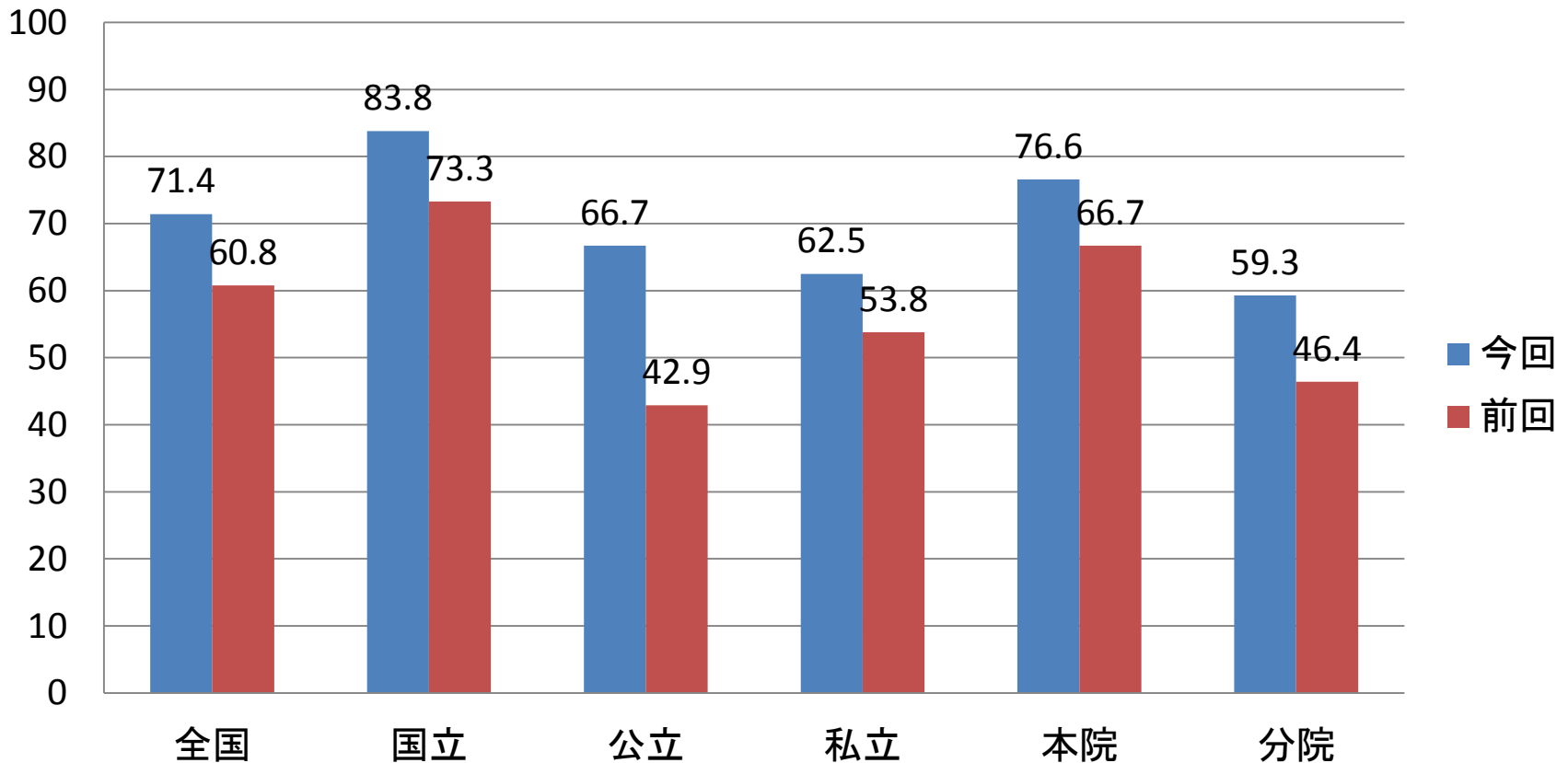
宿直医以外の時間外勤務手当の支給は、公立大学を除き、増加傾向にある。いずれの設立母体、本院分院でも半数以上が手当を支給している。

# オンコール医への手当



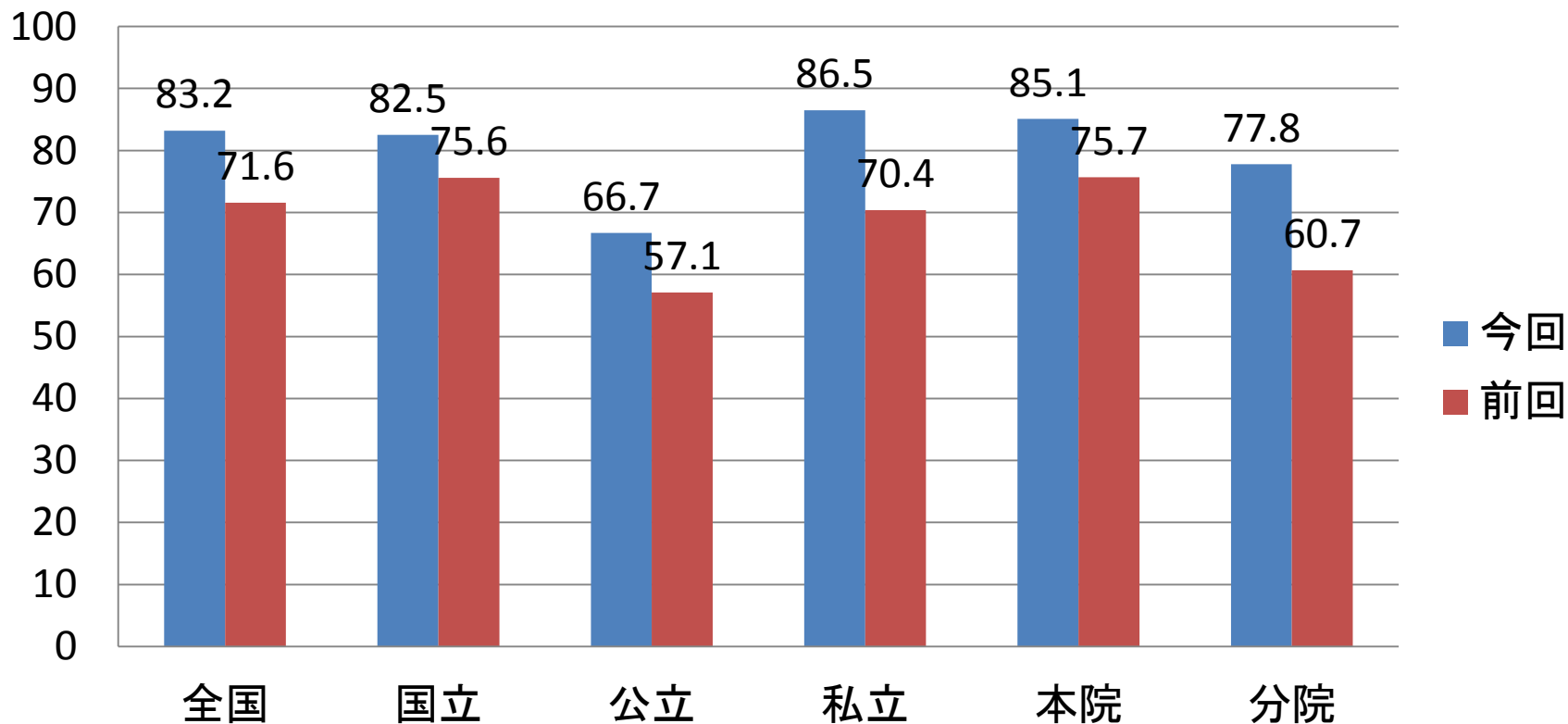
オンコール医に対する手当を行う施設も前回調査に比べ、増加している。いずれの設立母体、本院分院でも半数以上が手当を支給している。

# 時間外勤務手当以外の手当の支給



時間外勤務手当以外の手当を支給する施設の割合も増加している。いずれの設立母体、本院分院でも半数以上が手当を支給している。

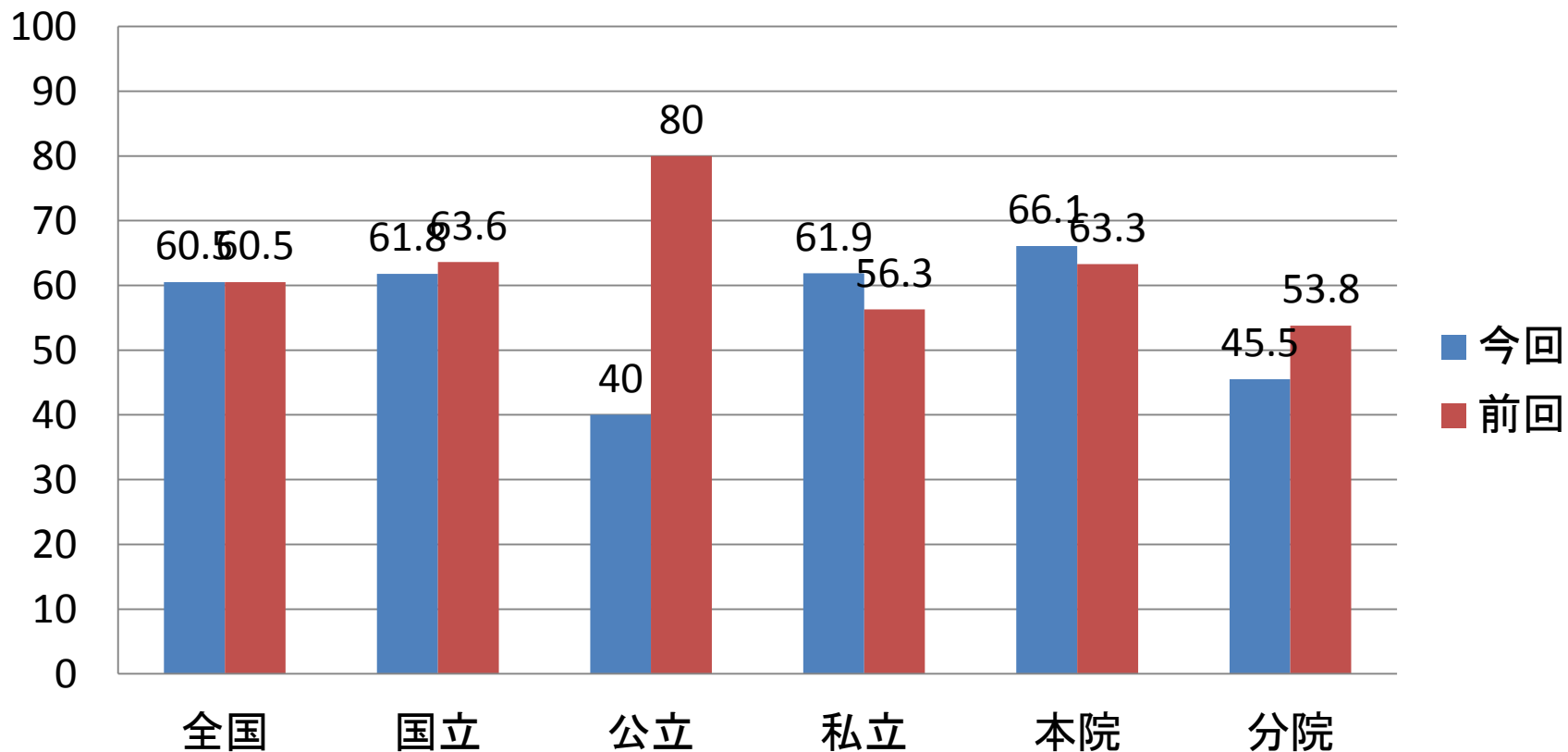
# 時間外手術に対する手当



全国的にみると、80%以上の施設が時間外手術に対する手当を支給している。いずれの設立母体でも時間外手術に関する手当支給は増加傾向にある。

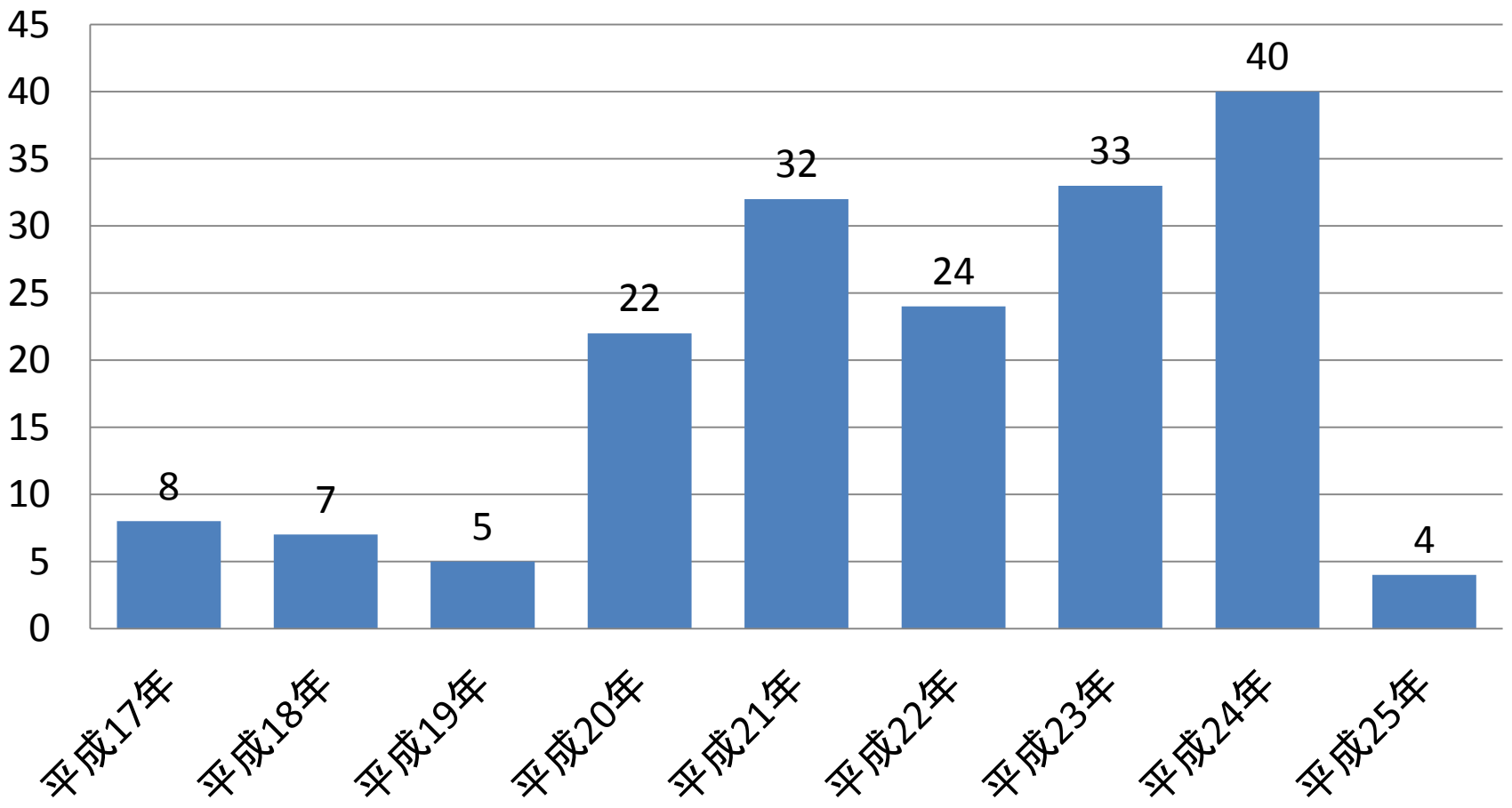


# 時間外分娩に対する手当



時間外分娩に対する手当の支給は、全国的にみると横ばいであった。

# 労働基準監督署の指導件数の推移 (全国)



# 大学病院勤務医の勤務環境について

- 十分とは言えないが、様々な手当の支給を通じて、大学病院勤務医の処遇は、徐々に改善しつつあると考えられる。
- 交代勤務制の導入や宿直明けの勤務緩和をさらに推進する必要がある。
- 育児休業制度及び短時間正規雇用制度の利用者は増加傾向になるが、絶対数としてはまだ、わずかな数であり、より利用しやすい制度とする必要がある。
- 労働基準監督署の指導は増加傾向にある。指導内容としては、労働時間の把握、時間外労働、医師の労働時間や出退勤の管理に関するものが多かった。
- 各病院とも、医師の勤務実態の把握と、適正な評価方法について、模索を続けている。